



## 平成28年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルファ  
コード番号 4760 URL <http://www.popalalpha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅野 薫  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 佐藤 靖夫

TEL 086-277-4511

四半期報告書提出予定日 平成28年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年8月期第2四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成28年2月29日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第2四半期	3,805	—	193	—	189	—	109	—
27年8月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年8月期第2四半期 71百万円 (—%) 27年8月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第2四半期	13.56	—
27年8月期第2四半期	—	—

(注) 平成28年8月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年8月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年8月期第2四半期	5,403	2,716	50.3	337.54
27年8月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 28年8月期第2四半期 2,716百万円 27年8月期 1百万円

(注) 平成28年8月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年8月期の数値は記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年8月期	—	0.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	7,220	—	152	—	142	—	60	—	7.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成28年8月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社オーケー企画の株式取得による企業買収を行ったため、連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年8月期2Q	9,154,442 株	27年8月期	9,154,442 株
② 期末自己株式数	28年8月期2Q	1,107,680 株	27年8月期	1,106,891 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年8月期2Q	8,047,158 株	27年8月期2Q	8,047,998 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成28年4月13日(水)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容(動画・音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期及び前期末との比較分析は行っておりません。

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益は回復基調にあり、個人所得も改善の兆しが引き続き見受けられるなど、明るい動きが見られます。その一方、人手不足が慢性化し、一部新興国に景気停滞懸念があり、株価や為替動向が不安定な動きを示すなど、先行きには不透明感も残っております。

このような環境の中、自社企画製品は、eコマース（オンラインショップ）を利用した受注が増加するなどし、売上高は596百万円となりました。

別注製品は、採算性を重視した取引選別の継続に加え、一部大口取引先での競争激化による受注の減少が大きく影響するなどし、売上高は1,785百万円となりました。

商品は、イベント商品や年末の装飾物、演出物の売上が堅調に推移したことや、平成27年9月1日に完全子会社化した株式会社オーケー企画の売上が寄与したことなどがあり、売上高は1,423百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,805百万円となりました。

一方損益面では、別注製品を中心に売上総利益率が引き続き改善したことや、株式会社オーケー企画に対するのれんの償却が発生したものの、販売費及び一般管理費を削減したことなどがあり、営業利益は193百万円、経常利益は189百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は109百万円となりました。

なお、当社グループは広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債、純資産の状況

## (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,120百万円となりました。その主な内訳は現金及び預金1,244百万円、受取手形及び売掛金1,178百万円、商品及び製品564百万円であります。

## (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は2,282百万円となりました。その主な内訳は建物（純額）245百万円、土地1,059百万円、のれん157百万円、退職給付に係る資産325百万円であります。

## (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,762百万円となりました。その主な内訳は支払手形及び買掛金844百万円、短期借入金350百万円、1年内返済予定の長期借入金119百万円であります。

## (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は924百万円となりました。その主な内訳は長期借入金397百万円、役員退職慰労引当金438百万円であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,716百万円となりました。その主な内訳は資本金409百万円、資本剰余金417百万円、利益剰余金1,961百万円、自己株式△263百万円、退職給付に係る調整累計額153百万円であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、380百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は63百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が189百万円となったことや、賞与引当金の減少額40百万円、売上債権の増加額128百万円、たな卸資産の増加額55百万円、仕入債務の増加額100百万円があったこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果得られた資金は11百万円となりました。これは、定期預金の純増加額54百万円、有形固定資産の取得による支出4百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入69百万円があったこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は245百万円となりました。これは、短期借入金の純増加額85百万円、長期借入れによる収入292百万円、長期借入金の返済による支出561百万円、配当金の支払額40百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年10月14日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、株式会社オーケー企画の株式取得による企業買収を行ったため、四半期連結財務諸表を作成しております。なお、連結の範囲に含まれる子会社の数は同社及び株式会社エー・エス・エープランニングの2社であります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,244,035
受取手形及び売掛金	1,178,301
商品及び製品	564,974
仕掛品	36,160
原材料及び貯蔵品	1,865
その他	97,303
貸倒引当金	△2,062
流動資産合計	3,120,577
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	245,707
土地	1,059,336
その他(純額)	69,907
有形固定資産合計	1,374,951
無形固定資産	
のれん	157,972
その他	92,636
無形固定資産合計	250,609
投資その他の資産	
退職給付に係る資産	325,371
その他	340,459
貸倒引当金	△8,454
投資その他の資産合計	657,376
固定資産合計	2,282,937
資産合計	5,403,515
<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形及び買掛金	844,441
短期借入金	350,000
1年内返済予定の長期借入金	119,233
未払法人税等	69,427
賞与引当金	42,559
その他	337,270
流動負債合計	1,762,932
固定負債	
長期借入金	397,724
退職給付に係る負債	1,130
役員退職慰労引当金	438,688
その他	86,945
固定負債合計	924,489
負債合計	2,687,421
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	409,796
資本剰余金	417,733
利益剰余金	1,961,870
自己株式	△263,182
株主資本合計	2,526,217
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	36,369
退職給付に係る調整累計額	153,505
その他の包括利益累計額合計	189,875
純資産合計	2,716,093
負債純資産合計	5,403,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
売上高	3,805,845
売上原価	2,312,330
売上総利益	1,493,515
販売費及び一般管理費	1,300,156
営業利益	193,358
営業外収益	
受取利息及び配当金	1,481
還付消費税等	2,655
その他	1,980
営業外収益合計	6,116
営業外費用	
支払利息	6,862
為替差損	407
その他	2,474
営業外費用合計	9,744
経常利益	189,730
特別利益	
固定資産売却益	24
特別利益合計	24
特別損失	
固定資産売却損	303
特別損失合計	303
税金等調整前四半期純利益	189,452
法人税、住民税及び事業税	64,779
法人税等調整額	15,523
法人税等合計	80,302
四半期純利益	109,149
親会社株主に帰属する四半期純利益	109,149

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)
四半期純利益	109,149
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△27,792
退職給付に係る調整額	△9,505
その他の包括利益合計	△37,297
四半期包括利益	71,851
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	71,851
非支配株主に係る四半期包括利益	-



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成27年9月1日  
至 平成28年2月29日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	189,452
減価償却費	35,611
のれん償却額	12,151
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△586
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△40,173
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△13,621
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	147
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△739
受取利息及び受取配当金	△1,481
支払利息	6,862
固定資産売却損益 (△は益)	278
売上債権の増減額 (△は増加)	△128,853
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△55,633
仕入債務の増減額 (△は減少)	100,620
その他の資産の増減額 (△は増加)	30,338
その他の負債の増減額 (△は減少)	△41,936
その他	860
小計	93,297
利息及び配当金の受取額	1,526
利息の支払額	△7,014
法人税等の支払額	△24,724
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,085
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 (△は増加)	△54,589
有形固定資産の取得による支出	△4,462
有形固定資産の売却による収入	24
投資有価証券の取得による支出	△538
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	69,851
長期貸付金の回収による収入	865
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	514
その他	287
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,952
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	85,736
リース債務の返済による支出	△21,627
長期借入れによる収入	292,000
長期借入金の返済による支出	△561,679
自己株式の取得による支出	△133
配当金の支払額	△40,237
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245,941
現金及び現金同等物に係る換算差額	△642
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△171,546
現金及び現金同等物の期首残高	551,882
現金及び現金同等物の四半期末残高	380,336

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。